

■令和5年度第3回柴田町新図書館建設検討委員会を受けての再検討項目について

1. 基本理念・キャッチフレーズ・基本方針

No.	再検討項目	町の考え方	検討委員の意見
1	基本構想 (1) 基本構想の中に観光という言葉が入るのは如何なものか	「観光」ではなく「交流」という表現に変更しました。	・交流の方が理解しやすくなり良かったです。
2	基本目標4の③ 図書館は静かに本を読むところで賑わいを求めていると思う	ここでいう「賑わい」というのは、図書館内に人の話し声がかやがやと聞こえるような賑わいではなく、多くの人世代を超えて集まり交流し様々な活動を通じて新たな生活文化を創り出す拠点としての意味で表現したものです。 図書館を核としてしばたの郷土館の再構築、みんなの広場との連携した中で賑わいエリアをつくるという柴田町の提案が国の都市構造再編集集中事業に資するという事で採択されたため、基本方針に掲げています。	・現在多くの図書館が全世代の交流の場や居場所に成れるように取り組んでいることを知らない人の方が多いと思います。HP上に次のレベルで運営方針を入れ、そこで詳しく説明する必要があります。後述の賑わいエリアのチラシを作成し説明するのも効果があると思います。
3	基本目標5 図書館が生涯学習に関する機能強化やまちづくり活動を支える拠点としての場所となる事がイメージできない	図書館において直接的に支援するのではなく、図書館の資料を活用して間接的に支援するという意味で、「支える」という表現に変更しました。	・こちらも同上で運営方針にて詳しく説明する。
4	柴田図書館＝グラウンドという感じがしっくりとこない	「グラウンド」という表現については、あくまでも案ですので、検討委員会で意見をいただいていた「ガーデン」「フィールド」やシンプルに「図書館」、「広場」などの表現にするかどうかについて意見をいただければと思います。	・図書館でいいのかも ・今回の基本理念・基本方針の方が分かりやすいので、シンプルに「図書館」、「広場」が良いと思います。仮に入れるとすれば、「ガーデンシティ」、「しばたのオープンガーデン」、「コミュニティガーデン「花の丘 柴田」」などが有るので「ガーデン」が町としての統一感が出ますが、「リニューアルするしばたの郷土館、新設のみんなの広場、新図書館」を一つのエリアとして「ガーデン」を使った「しばたの賑わいガーデン」などのネーミングを付ける方が、スムーズに受けとれます。賑わいエリアの中に「しばたの図書館」、「しばたの郷土館」、「しばたみんなの広場」が入っているイメージです。 ・はなの町柴田が柴田町のキャッチフレーズなので、場所を意味する言葉の中ではガーデン（庭園）も良いと感じた。
5	新図書館のイメージ図は基本方針を取り入れていく形が表現されていない	別紙に再度添付しましたが、矢印をなくし、円でつなげるようにしました。また、グラウンドという文字は検討中のため仮で図書館しました。	・種～花の図は必要なのか？種を蒔く～花開くは必要なのか？「花のまち柴田」を意識しているから？ ・見やすいイメージ図になったと思います。この場合、各基本方針に順番や重要度の差異はないので、番号は必要無いのでは。 ・循環するという事が表現できているのであれば、矢印でも円でも違和感はない。

<p>6</p>	<p>図書館の施設を建てるだけでなく、住民による図書館運営やホームページに対する企画提案等、誰にでも参加しやすい新しいやり方や手法を取り入れて欲しい</p>	<p>新図書館開館後は、図書館の運営や企画提案等のプロセスに、住民の皆さんが主体的に係わり、参加できるしくみを考えていかなければならないと考えます。そのため、基本計画、基本設計を作成する段階で、住民の皆さんの意見を積極的に取り入れ、自分達の町の図書館は自分たちで考え、必要があれば行動を起こすという当事者意識の醸成が重要であると考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できる図書館として特徴を持たせるのは良いと思います。現図書館の運営もそれを意識したものにしていかないと、「完成しました。さあ参加して下さい。」では難しいので、今からでも出来る取組を実行してください。 ・当事者意識を持つには指標の共有が必要だと思う。 <p>自分を含め住民は思い思いに発言するが、行政側も住民側に行政サービスは無料でできるものではなく、実際にはコストがかかることを随時詳細に公開していくことが大事だと思う。その上で別案はないかアイデアを募り、現実的にできること、やりたいこと、プロに任せたい方がよいこと等を協議していければと考える。</p>
<p>7</p>	<p>サポートやボランティア活動という言葉は下にみた言葉と感ぜられる 住民と図書館と一緒に進んでいくには協働の方が良いのではないかと。表現を修正しては。</p>	<p>図書館の事例での協働とは、新図書館開館後、住民が図書館活動を支援していくために、行政と役割分担しながら協力することを指すものと考えます。協働の表現に修正を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想以降の検討項目ですが、協働の具体的な内容が気になります。私も当事者でしたが、柴田町図書館は苦い経験をしています。どのように協働（町民側が逸脱しない常識的な活動）を実現していくか、しっかりと検討する必要があります。 <p>サポートやボランティア活動という言葉に他者を下にみるというニュアンスは感ぜたことはない。自発的な善意で行う行動だと認識している。 論点がずれるが、もし行政側にそういう認識が蔓延っているのであれば、そちらに問題があると感じた。</p>

2. 新図書館の蔵書数及び延床面積について

No.	再検討項目	町の考え方	検討委員の意見
1	対面の朗読室は無くても困らないが、録音室は必要ではないか	ボランティア室兼対面朗読室として、防音機能のある部屋の設置を考えています。	・ボランティア室を兼ねるのでしたら、名取市図書館の様にバックヤードに設置するのではなく、活動の様子が利用者から見えるようにしてほしいです。利用者がオープンな雰囲気で見えて、図書館との協働を知り参加するきっかけになればと思います。
2	緑に囲まれた図書館となると虫や鳥の対応が必要となるが、どのような対策をとるか	外構部分については、持続可能なもので、かつ利用者の憩いの場となるよう、虫や鳥への対策も含め設計業者に伝えていきたいと考えています。	・何年前前に体験実習室の窓に突っ込んで亡くなっていたオナガがいました。あの程度の窓でもあるので、これも伝えて下さい。
3	利用カードについてはマイナンバーカードになるかもしれないのでその可能性について検討する必要がある	マイナンバーカード利用促進の補助金等があれば検討していきたいと考えています。	・開館の頃のマイナンバーに対する社会情勢は分かりませんが、現時点では「情報流失や国が情報取得できる」のではと不安（図書館の理念を知っている人は大丈夫ですが、貸出し履歴が他者に知られる可能性）を持つ人がいると思います。
4	移動図書館やバス等を導入して、他の地域も巻き込んで、広く利用できるようなサービスが欲しい	今後の財政運営から考えると移動図書館等のサービスの提供は難しいと考えます。 現在、行っている各生涯学習センターや公民館図書室との連携を強化し、図書館資料の貸出を継続するとともに、車のない方への交通手段については、デマンドタクシーの利用促進を図っていきます。	・各区にお願いして決定してもらう必要はありますが、集会所の利活用も検討しては、各集会所に本のコーナー（マイクロライブラリーを開設する方法も有ります。）を作り、曜日・時間を決めて開放してもらう。本は地区の方たちから提供してもらったり、図書館からのアウトリーチなどで対応する。図書館司書が巡回し読み聞かせを行うことも考えられます。 開館まで年数があるので、図書館や公共施設に特化したライドシェアも検討課題になるかもしれません。 ・電子書籍、オーディオブックを運営する民間企業の利用促進・提携も同時に行って頂けたらと思います。 視角に何らかの問題を抱える方、遠方に住む利用希望者、外出困難者にも利する策の一つではないかと考えます。 賑わい作りとして補助金を確保された事は理解していますが、来館以外に図書館とつながることができる策を色々試すことが今後の小さい町の図書館には求められると感じます。
5	小室達さんの作品を飾る場所を検討して欲しい	小室達さんの作品については、農村環境改善センターの騎馬像を思源閣に設置し、新しいコーナーを整備する予定としています。	
6	オーディオに関しては娯楽ではなく地域の情報や障がい者向けのものとして活用するために情報を並べておく部屋やスペース、データをどう見せるのかその方法を考えることが必要	CD・DVDの貸出しは必要ないと考えています。 代わりに視聴覚室のような機能で、視覚が障害の方に録音した図書の貸出しを行ったり、プロジェクターを設置して、シアタールームのように、大画面で地域のアーカイブ映像を流す等の活用が考えられると思います。	・視聴覚室を図書館内に設置するという意図なのであれば、利用頻度が少ないものに固定の維持費がかかるものはできるだけ少なくした方が良いのではと思いますので建設時に壁面をプロジェクター投影可能な仕様にておけば良いのではないかと考えます。

・No5追記 「柴田町」独自の基本方針図としてインパクトが弱いと感じます。(イラスト)基本目標が5項目あるので、桜の花びらが1枚1枚としてはどうか?町の”花”は「さくら」であり、柴田町ホームページ内”観光”観る・遊ぶにカテゴリーとして1番目に単独で情報が出てきます。図に植物を使うのであれば「さくら」の花や木をイメージできるものにする事を提案します。

・細かいことで申し訳ありません。イメージ図の「花開く」の下段が基本方針と合っていません。「地域の未来を育む」→「地域の未来を拓く」

子どもについて「育む」、地域について「拓く」を当てているように思います。それでしたら、イメージ図の花のイラスト上の右端は、「地域を育む」→「地域を拓く」にし、「芽吹く」と「育む」の下段を入れ替えた方が統一されて良いと思います。